

ワイドラスコートシャッターA型

取付説明書

- このたびは、東洋エクステリア製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- 正しく施工、組付をしていただく為に、施工前に必ず取付説明書をお読みください。

◆工事区分についてのお願い

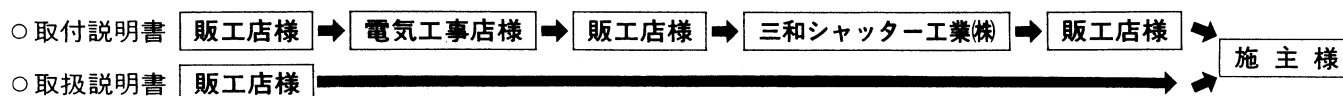
この商品の施工工事におきまして施工業者様が複数に分かれます。

確実に施工を行っていただくため下に示します工事区分表で工事をお願いします。

(1) 工事区分表

施 工 工 程	施 工 範 囲	施工担当者
1. 本 体 工 事	取付説明書内P15「17. 巾木の取付け」 までの本体工事	販工店様
2. 電 気 工 事	取付説明書内P12「13. 結線」	電気工事店様 (電気工事士資格者)
3. 表面仕上げ工事	取付説明書内P16「18. 表面材の仕上げ」	販工店様
4. シャッター工事	取付説明書内P18「19. シャッター取付工事」 工事内容は ・シャッター取付工事 ・2次側配線（側壁上部とシャッター制御部の結線） ・光電センサーの光軸調整 ・シャッターの上限、下限調整 ・運転確認およびリモコン作動確認	三和シャッター工業(株)

(2) 取付説明書、取扱説明書の引継ぎ手順



■注意とお願い

ワイドタイプのシャッターを搭載する本商品の施工におきまして、施工業者様および、その施工区分が複数に分かれます。それにともないまして「未施工部」や「取付説明書の紛失」など後施工工程にトラブルが発生する可能性があります。つきましては、工事前の工事区分の確認と調整、施工後におきまして取付説明書最終ページの「施工チェックリスト」で再度、施工範囲内の工事が完了していることを確認して下さい。

■ 梱包明細書

パネル本体ユニット

●前面パネルセット

名 称	員 数
前面パネル本体	1
光電センサー用CD管 (ℓ=6800、ℓ=1800)	各 1

●側壁セット(左)

名 称	員 数
側壁パネル本体(左)	1
巾木 1～5	各 1
巾木取付ネジ φ4×19 ナベテクスネジ	20

●側壁セット(右)

名 称	員 数
側壁パネル本体(右)	1
巾木 1～5	各 1
巾木取付ネジ φ4×19 ナベテクスネジ	20

●部品セット

名 称	員 数
ベースプレート(正面用)	2
ベースプレート(端部用)	2
ベースプレート(調整用)	6

●笠木セット

名 称	員 数
笠 木 (正面用)	1
笠 木 (側壁用)	2
コーナーキャップ	2
端部キャップ	2
笠木取付ネジ φ4×19 ナベテクス	10
“ 座金 M4用シーリングワッシャー付	10
キャップ取付ネジ φ4×14 ナベ	16
“ 座金 M4用シーリングワッシャー付	16

注意) 笠木は2サイズよりの選択部材です。

●部品セット

名 称	員 数
前面パネル取付金具(上)	2
前面パネル取付金具(下)	2
アンテナ取付ネジ φ4×19 ナベテクスネジ	2
ベースプレート(調整用)組付ネジ M4×10 ナベ	24
ホールインアンカー M10 L=60(六角ナット入り)	8
M12 アイボルト	6
前面パネル取付ボルト M10×25 (Wセムス)	20
ベースプレート固定調整ボルト M10×50 六角ボルト	18
ベースプレート固定座金 1 M10 平座金	6
ベースプレート固定座金 2 M10 ばね座金	6
光電センサー取付プレート	2
光電センサー取付プレート取付ネジ φ4×8	4
光電センサー取付ネジ M4×25	4
光電センサー取付ナット M4	4
光電センサーカバー(L・R)	各 1
光電センサーカバー取付ネジ φ4×8	8
CD管固定サドル	2
CD管固定サドル取付ネジ φ4×10	4
投光側光電センサー(コード7m付)	1
受光側光電センサー(コード2m付)	1
シール剤	1

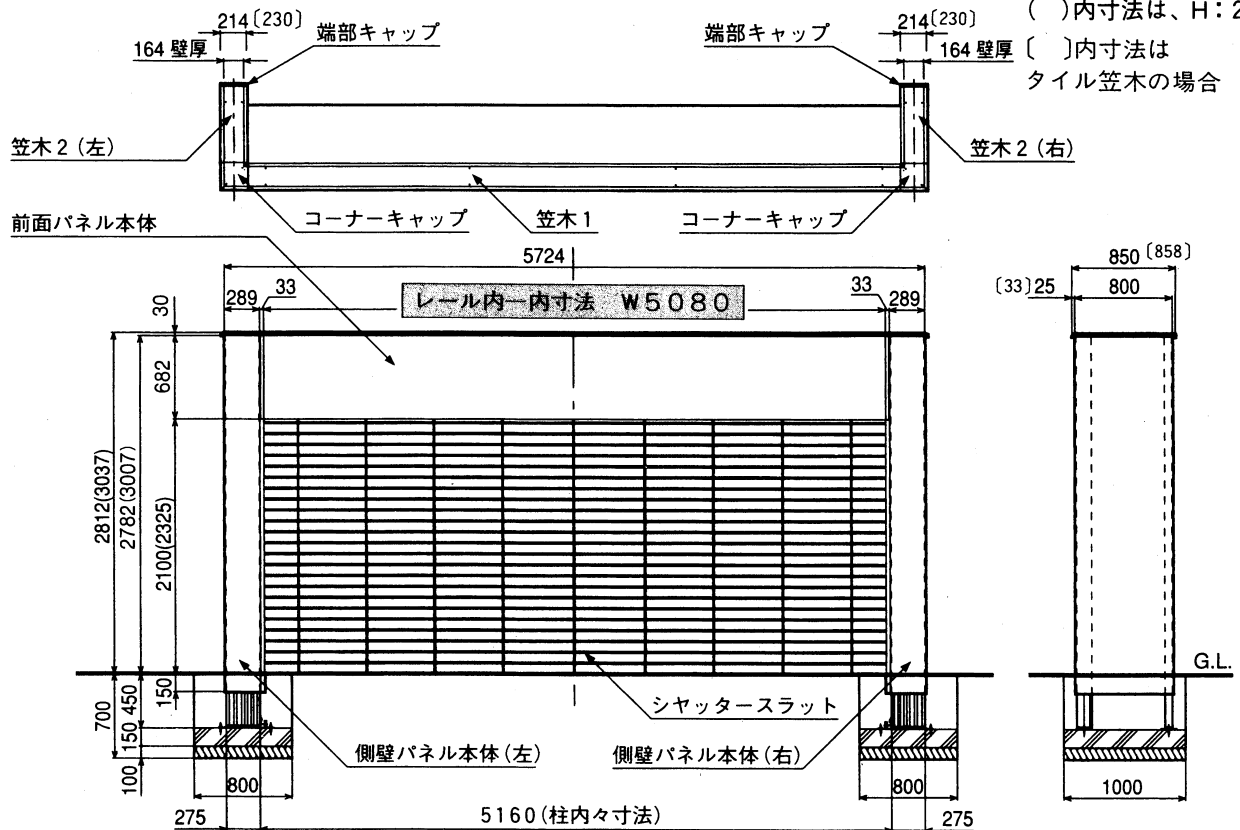
1.基本寸法及び各部名称

1-1. ステンタイプ

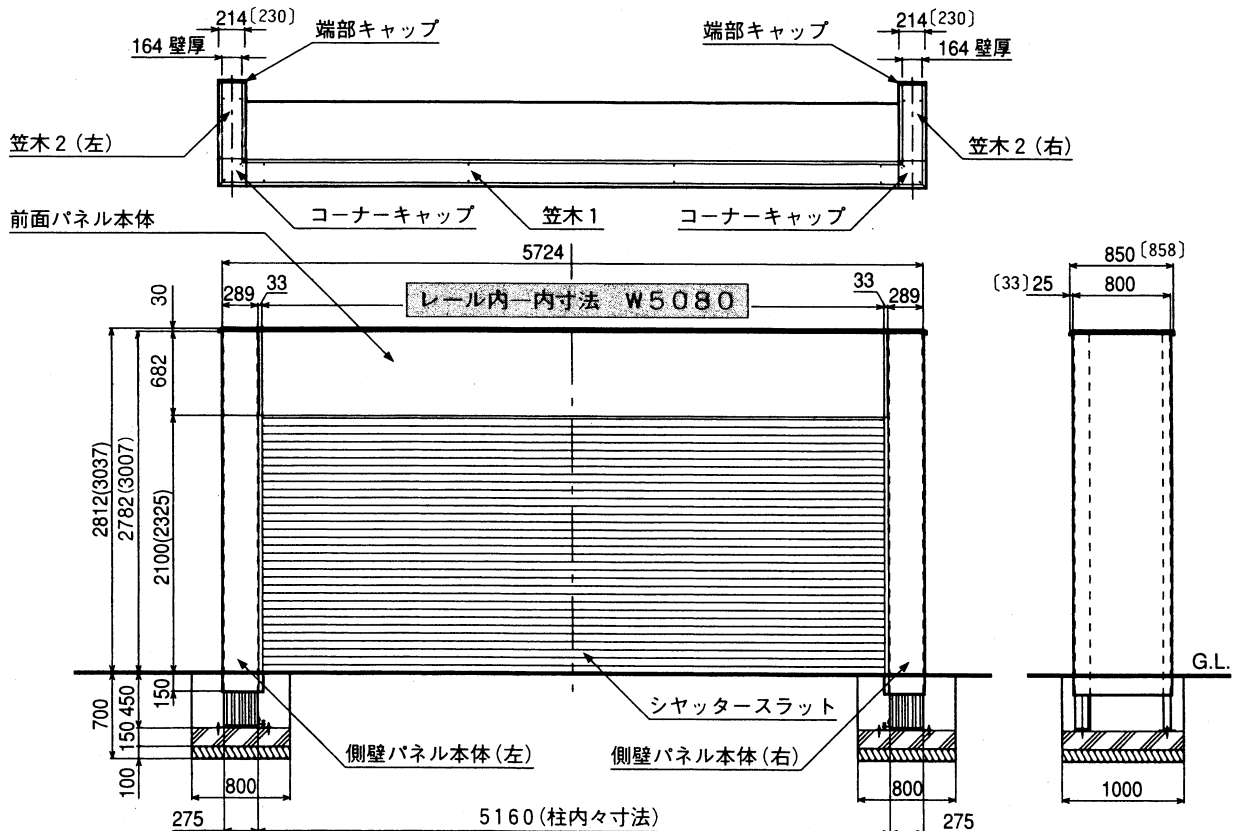
図はH:2100です。

()内寸法は、H:2325

[]内寸法は
タイル笠木の場合



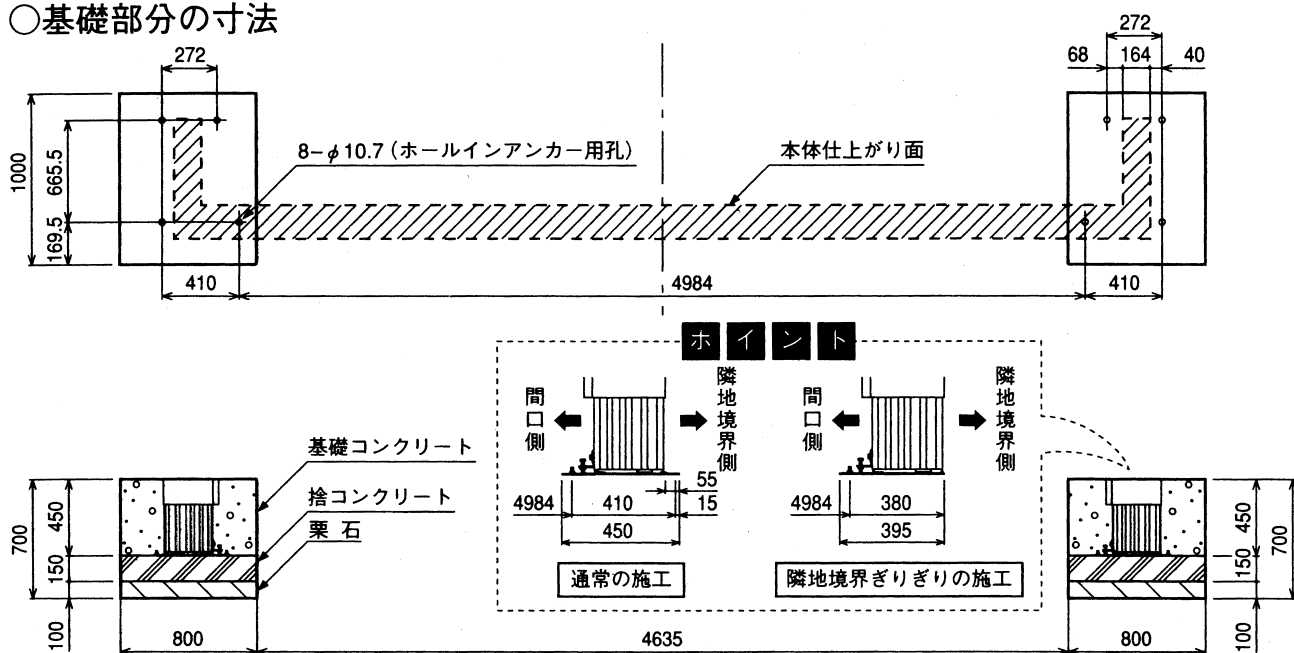
1-2. アルミタイプ



ポイント

施工寸法は、レール内一内寸法5080mm(上・中・下部で確認して下さい。)また、左右側壁パネルのレベル差は±5mm以内として下さい。

○基礎部分の寸法

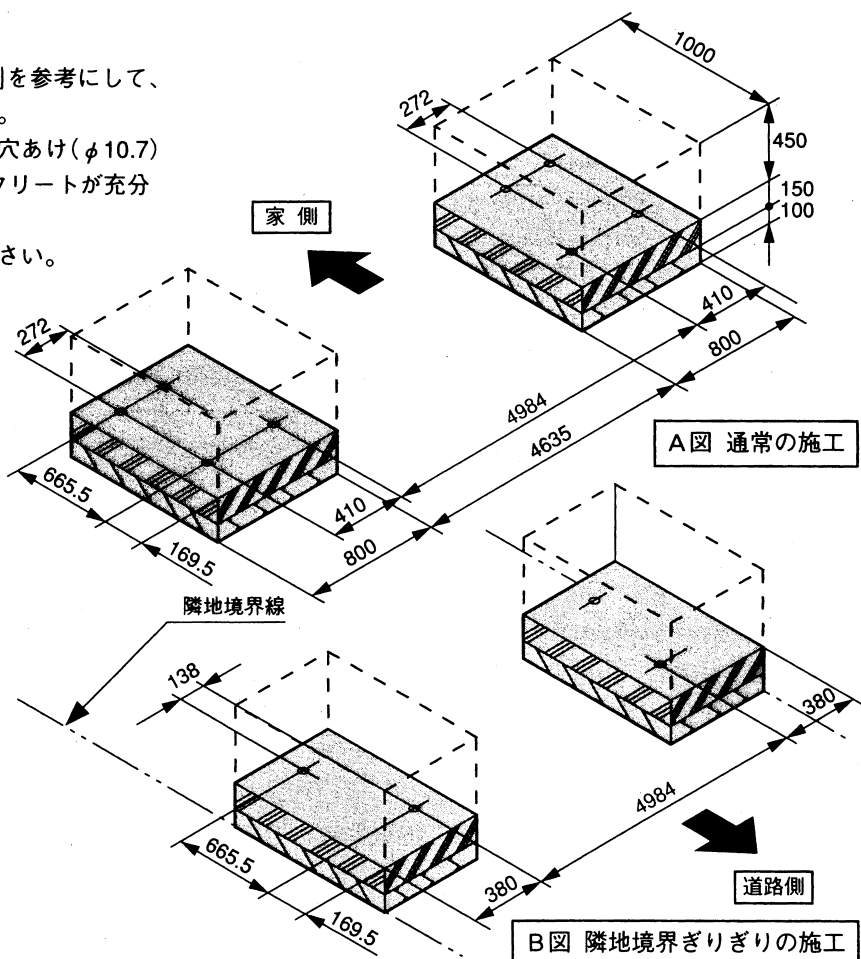


2. 基礎の施工

- ① 2ページの「1.基礎寸法及び各部名称」を参考にして、捨てコンクリートを施工して下さい。
- ② 墨出しをしてホールインアンカーの穴あけ(φ10.7)を行なって下さい。(穴あけはコンクリートが充分硬化してから行なって下さい。)
- ③ ホールインアンカーを打ち込んで下さい。

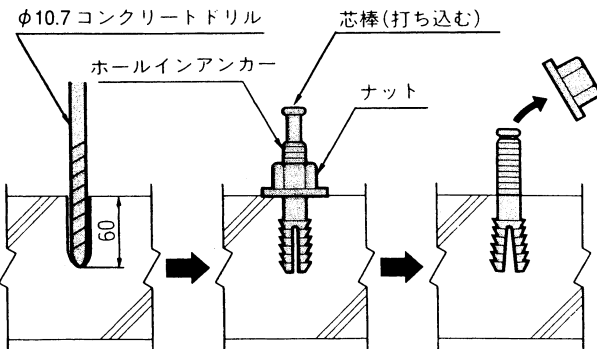
注意

●隣地境界線ぎりぎりに施工する場合、隣地境界線のホールインアンカーは取付けず、隣地境界線側へ側壁パネル本体を寄せ付けて施工して下さい。



3. ホールインアンカーの施工

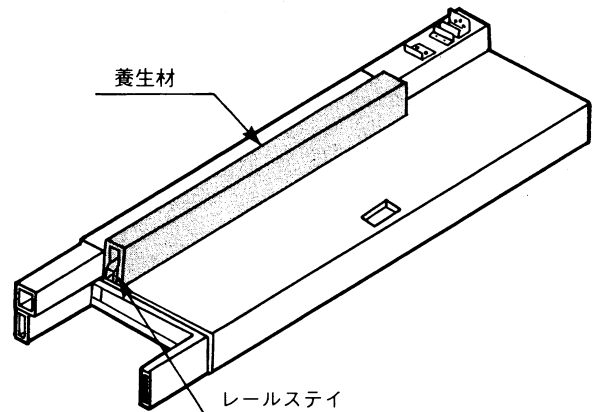
- ① 直径 10.7mm のコンクリートドリルで深さ 60mm の下穴をあけてください。
- ② ホールインアンカーに付属のナットを手で一杯までネジ込んでください。
- ③ 穴にホールインアンカーを入れ、芯棒をハンマー等で充分打ち込みます。
- ④ ナットを一旦、取りはずしてください。



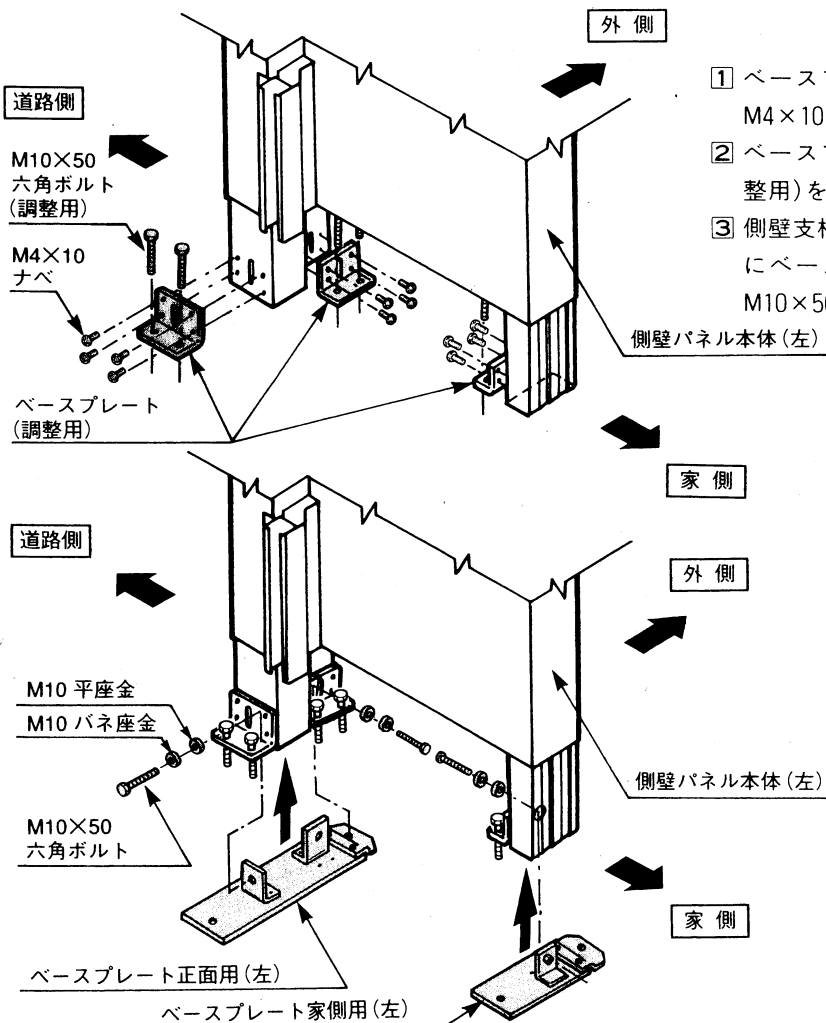
4. 開梱と養生

注 意

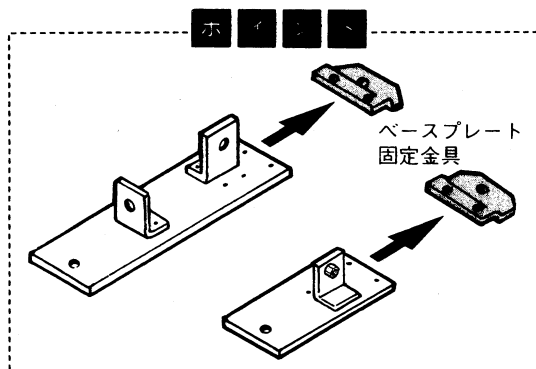
- レールステイの養生材は、シャッターレール取付時まで取り外さないで下さい。



5. ベースプレートの取付け



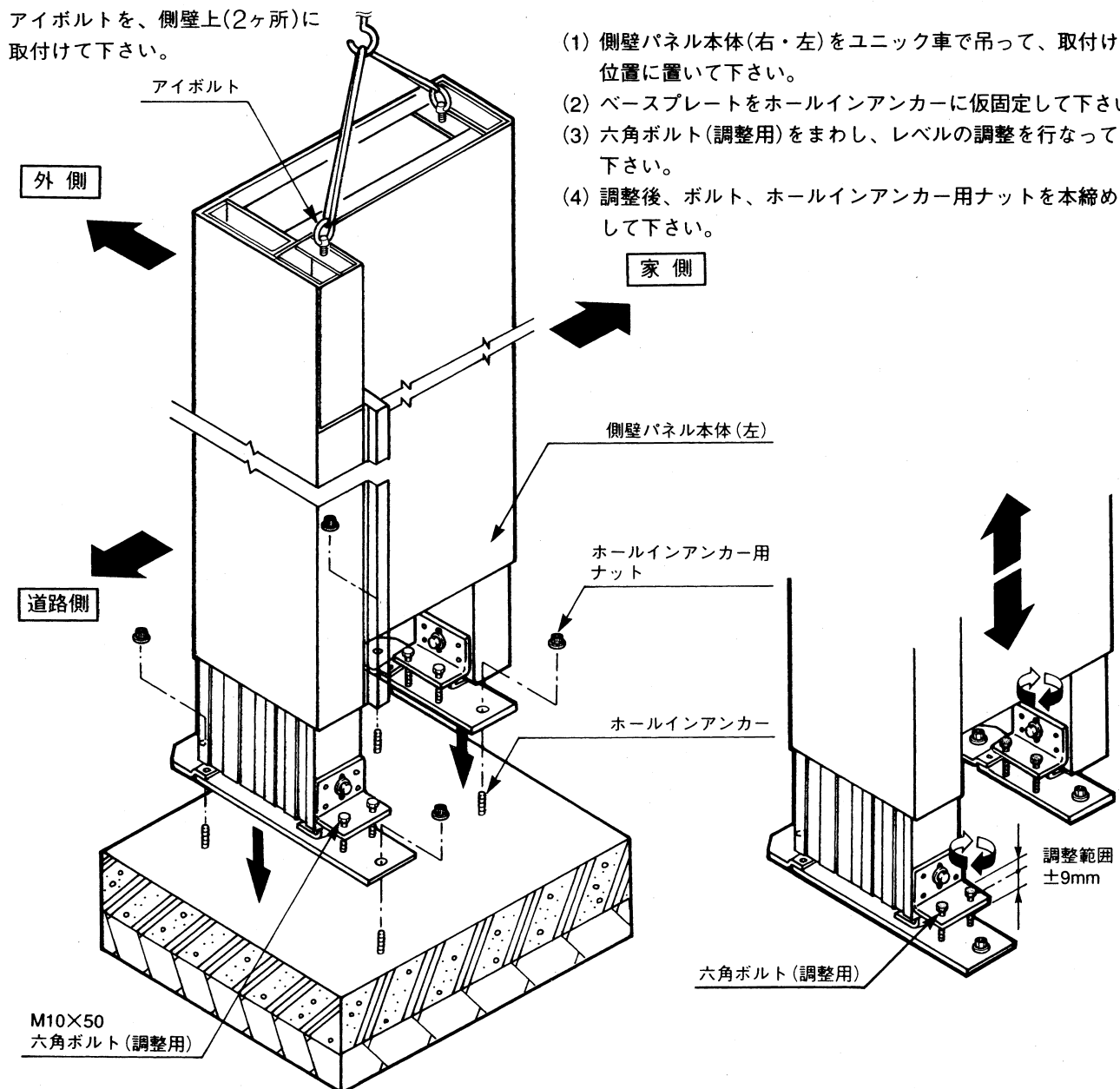
- ① ベースプレート(調整用)を片側3箇所(計6箇所)に M4×10ナベ小ネジで取付けて下さい。
- ② ベースプレート(調整用)に M10×50六角ボルト(調整用)を約半分までネジ込んで下さい。
- ③ 側壁支柱の道路側にベースプレート(正面用)、家側にベースプレート(端部用)をそれぞれ差し込み、M10×50六角ボルト(固定用)で固定して下さい。



- 隣地境界ぎりぎりに施工する場合は、ベースプレート固定金具を取りはずして下さい。

6. 壁ユニットの固定

アイボルトを、側壁上(2ヶ所)に取付けて下さい。



- (1) 側壁パネル本体(右・左)をユニック車で吊って、取付け位置に置いて下さい。
- (2) ベースプレートをホールインアンカーに仮固定して下さい。
- (3) 六角ボルト(調整用)をまわし、レベルの調整を行なって下さい。
- (4) 調整後、ボルト、ホールインアンカー用ナットを本締めして下さい。

家側

側壁パネル本体(左)

ホールインアンカー用ナット

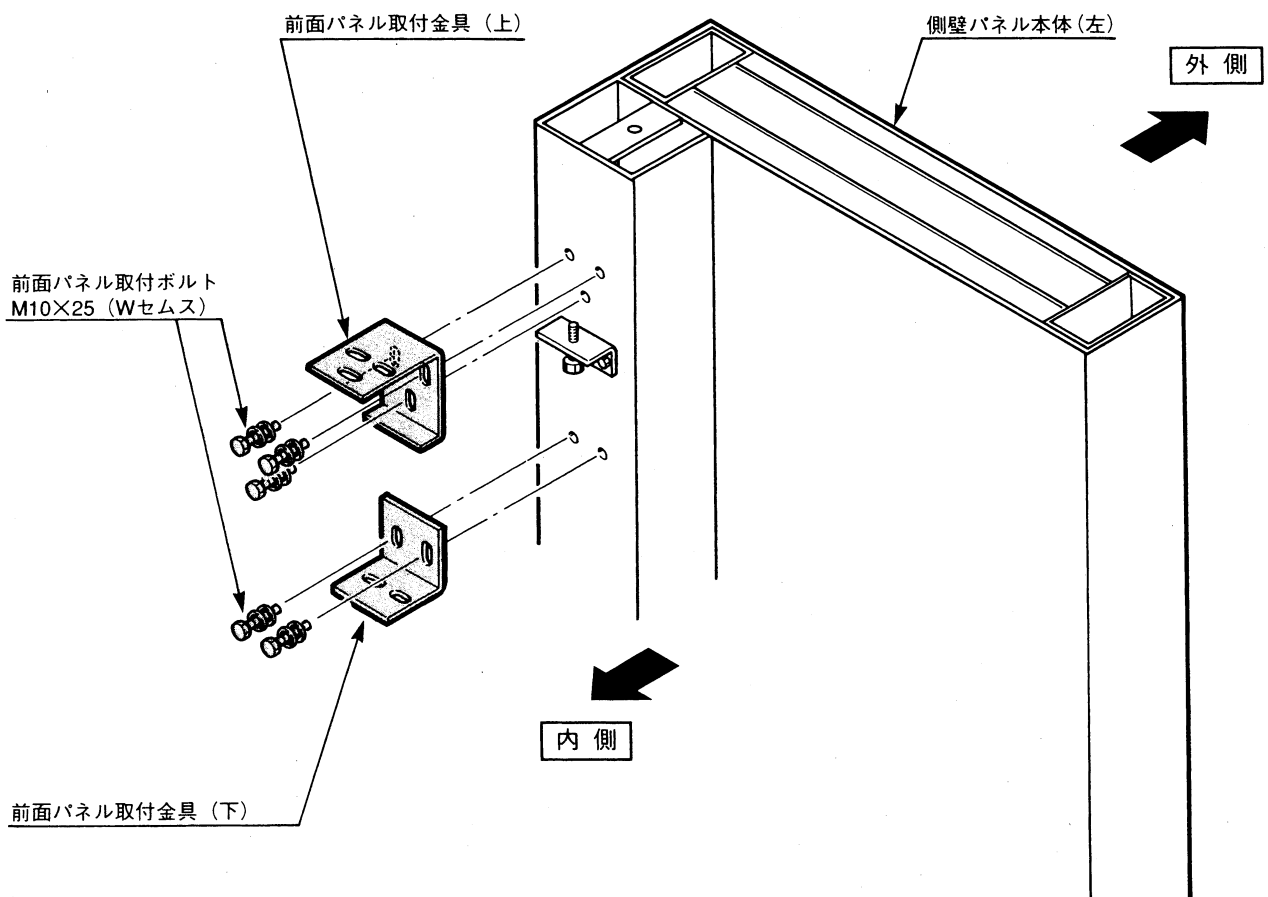
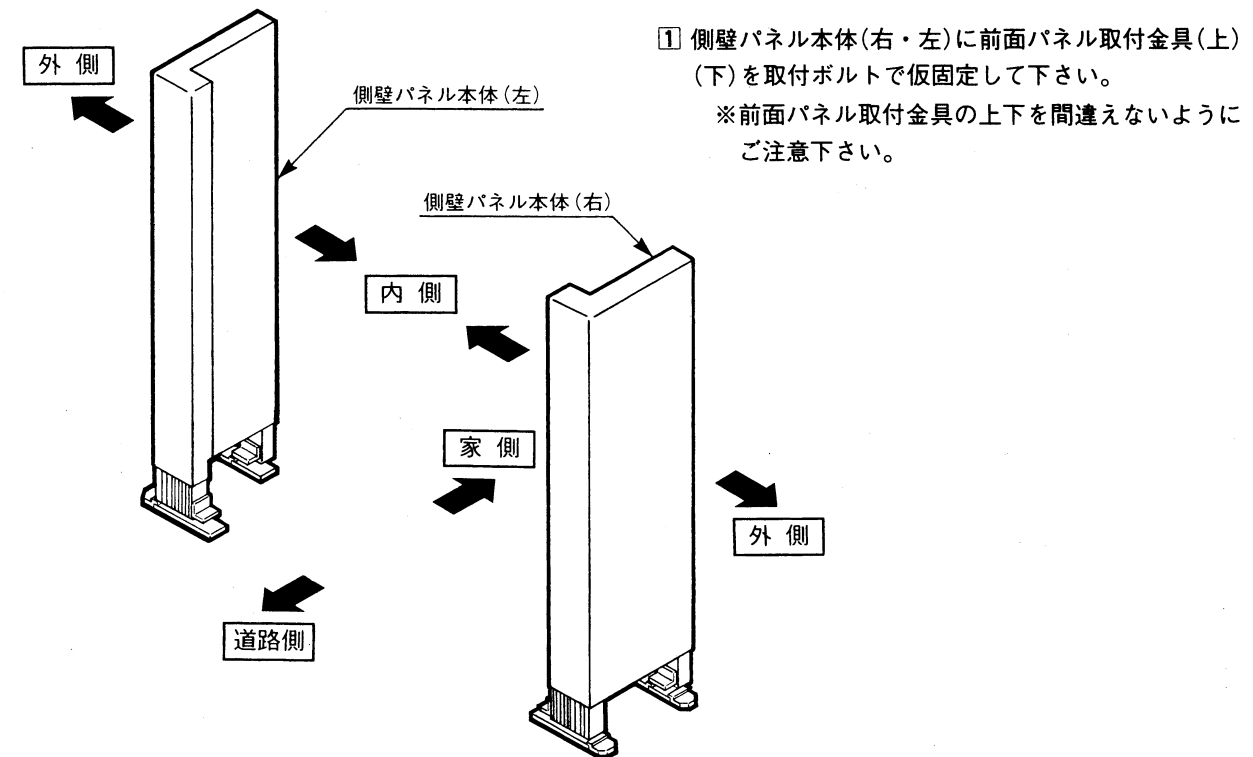
ホールインアンカー

調整範囲
±9mm

六角ボルト(調整用)

M10×50
六角ボルト(調整用)

7. 前面パネル取付金具の取付け



8. 前面パネルの取付け

アイボルトを前面パネル上(2ヶ所)に取付けて下さい。

側壁パネル本体(左)

アイボルト

前面パネル本体

道路側

- ① ユニツク車を利用し、側壁に前面パネルを取付ボルトで仮固定してください。

※側壁固定後、アイボルトは取りはずしてください。

家側

アイボルト

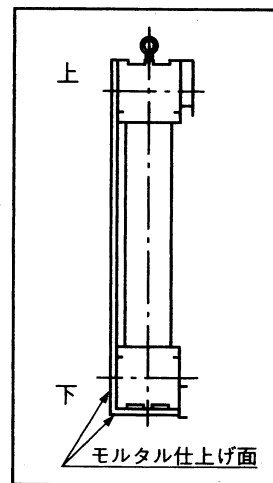
側壁パネル本体(右)

アイボルト

前面パネル取付ボルト (M10×25)

前面パネル本体

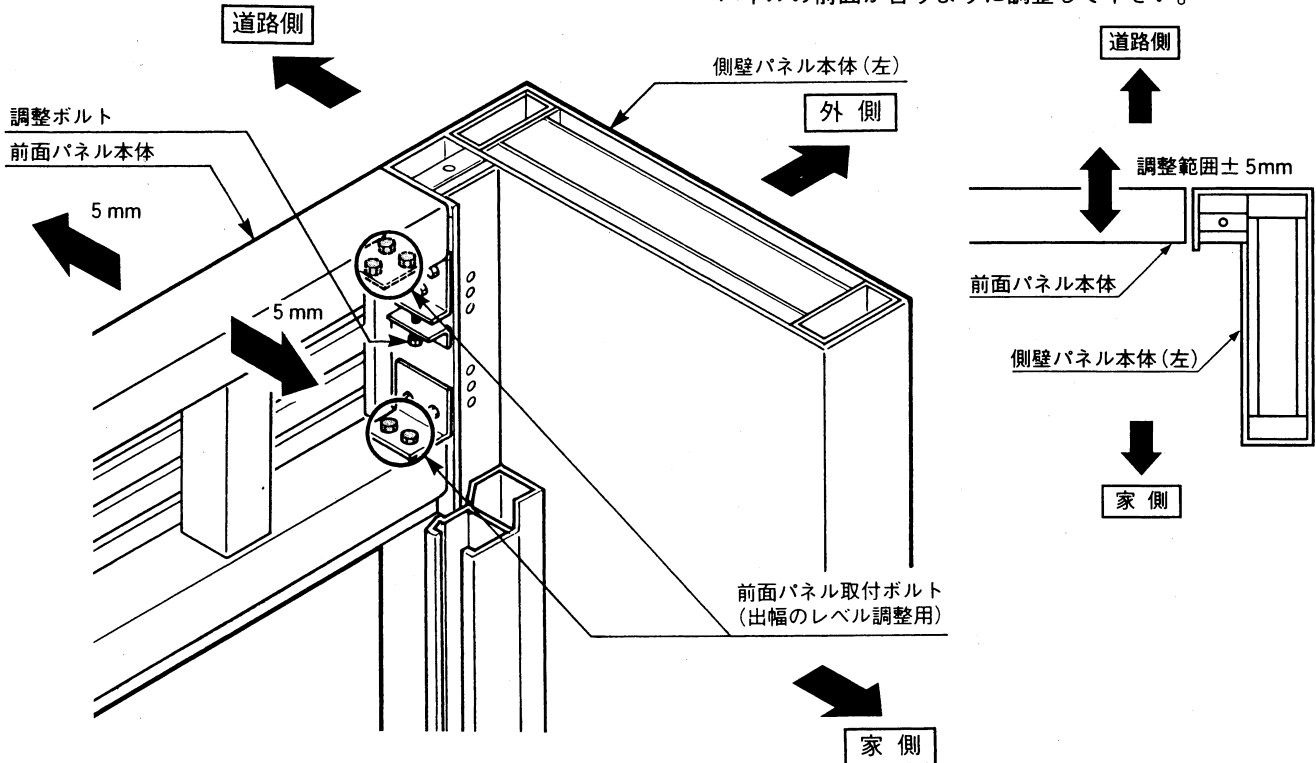
側壁パネル本体(左)



9. 壁のレベル調整

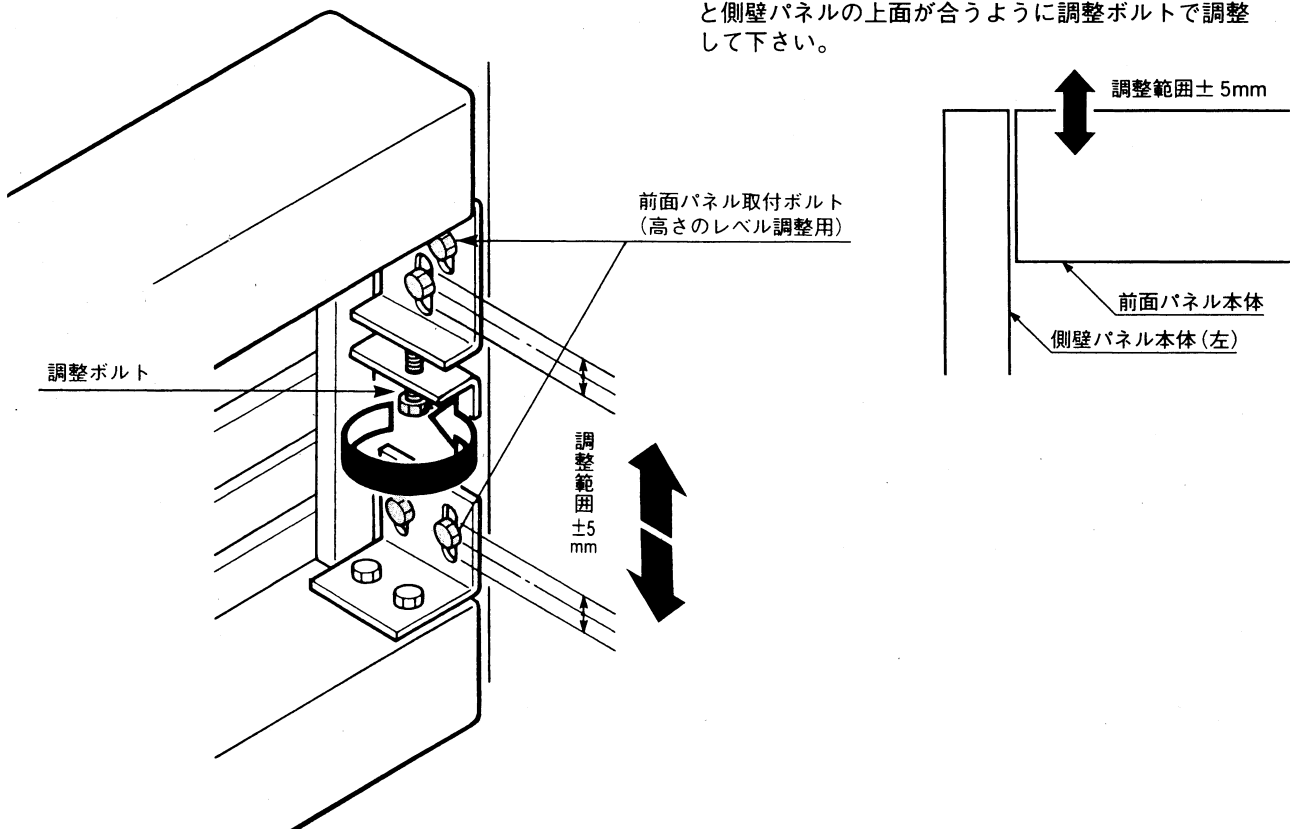
9-1. 出幅のレベル調整

- ① 前面パネル取付ボルトをゆるめ、側壁パネルと前面パネルの前面が合うように調整して下さい。

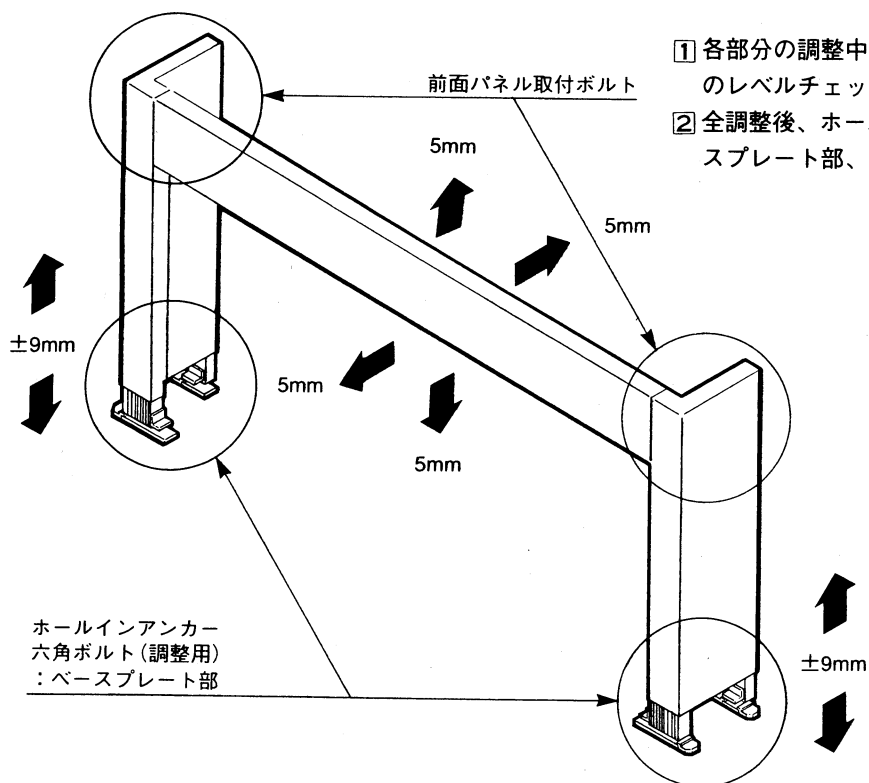


9-2. 高さのレベル調整

- ① 側壁側の前面パネル取付ボルトをゆるめ前面パネルと側壁パネルの上面が合うように調整ボルトで調整して下さい。

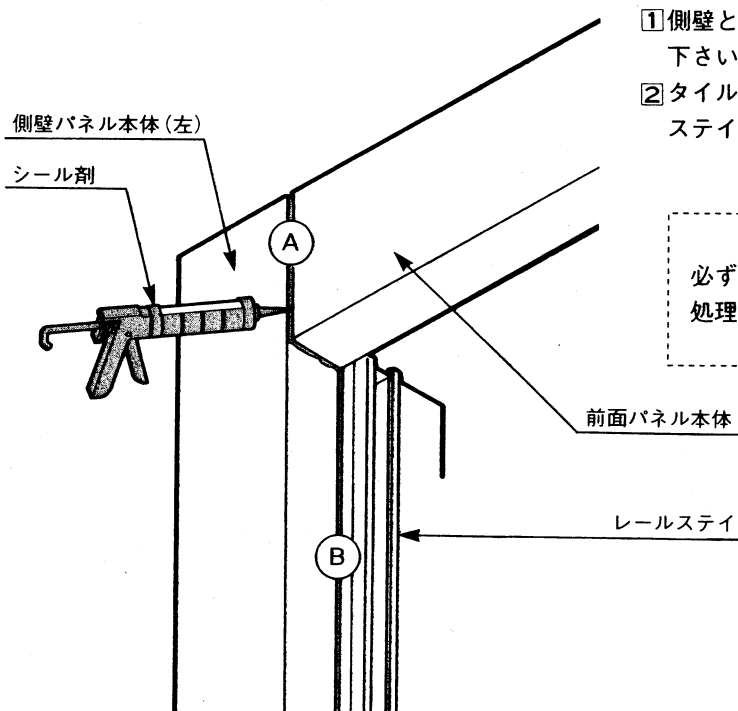


10. レベルチェック、固定



- ① 各部分の調整中に多少ずれる可能性があるため、再度全体のレベルチェック、調整を行なって下さい。
- ② 全調整後、ホールインアンカー、六角ボルト(調整用)、ベースプレート部、前面パネル取付ボルトを固定して下さい。

11. シール剤の処理



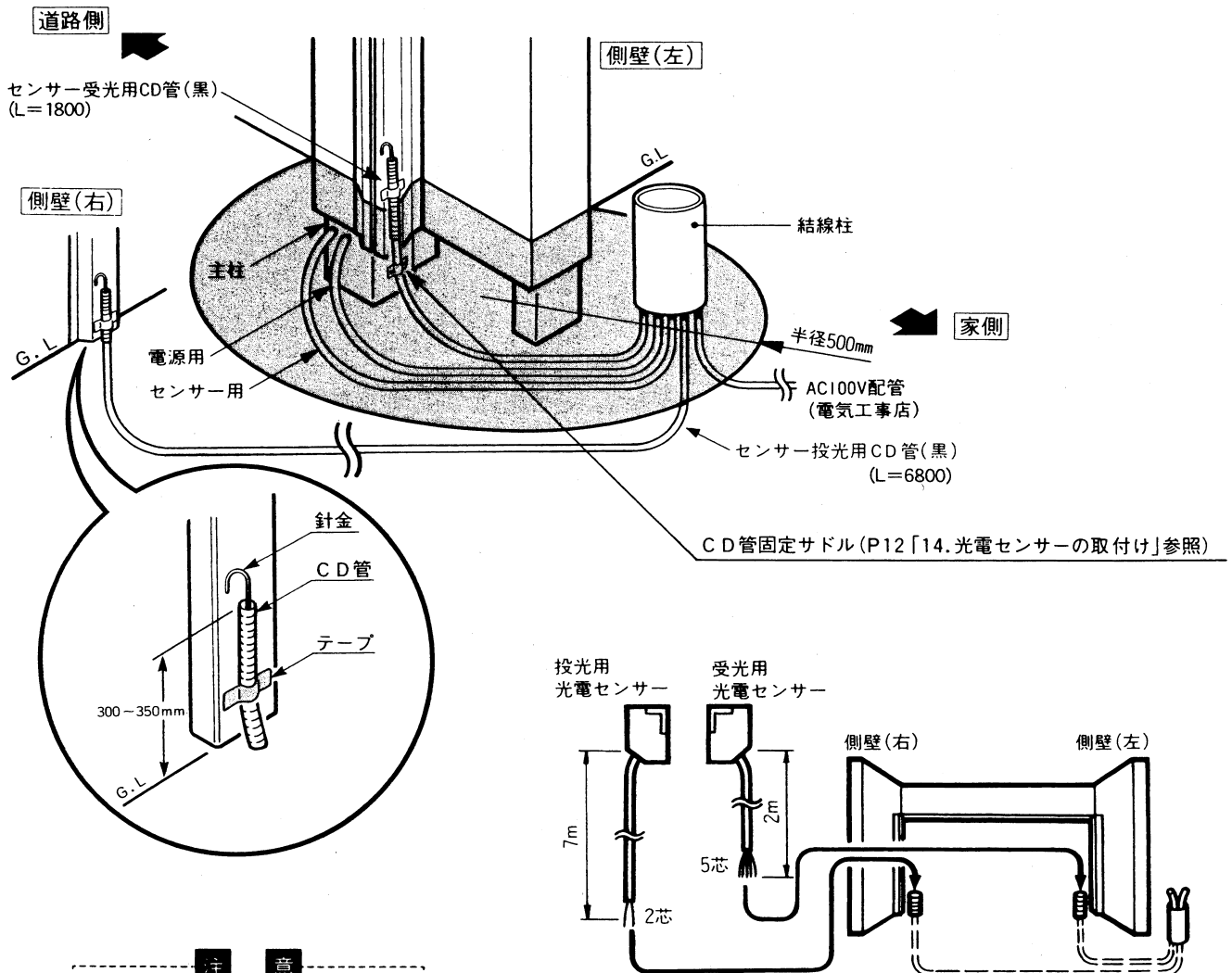
- ① 側壁と前面パネルの合わせ目(A)部をシール剤で処理して下さい。
- ② タイル又は塗材による表面の仕上げを行なった後、レールステイ(B)部にも必ずシール剤で処理して下さい。

注 意

必ずまわりのマスキングを行ってからシール剤の処理を行なって下さい。

12. CD管の配管

- ① 結線柱は側壁(左)の家側面から半径500mm以内に施工して下さい。
- ② 側壁(主柱部)からCD管(電源・センサー用)・センサーからのCD管(センサー受光・投光用)計4本を結線柱まで配線して下さい。尚、結線柱内での電気工事は、有資格の電気工事店様へご依頼下さい。
- ③ センサー用CD管(黒)は、側壁最下部でG.Lより300～350mm出してテープにより仮固定して下さい。
- ④ 配管後、投光用および受光用光電センサーをレール下部のCD管よりケーブルを通して下さい。この時、7mケーブルが付属している投光用光電センサーは側壁(右)より通して下さい。また、CD管内に入れてあります針金を利用してケーブルを通して下さい。

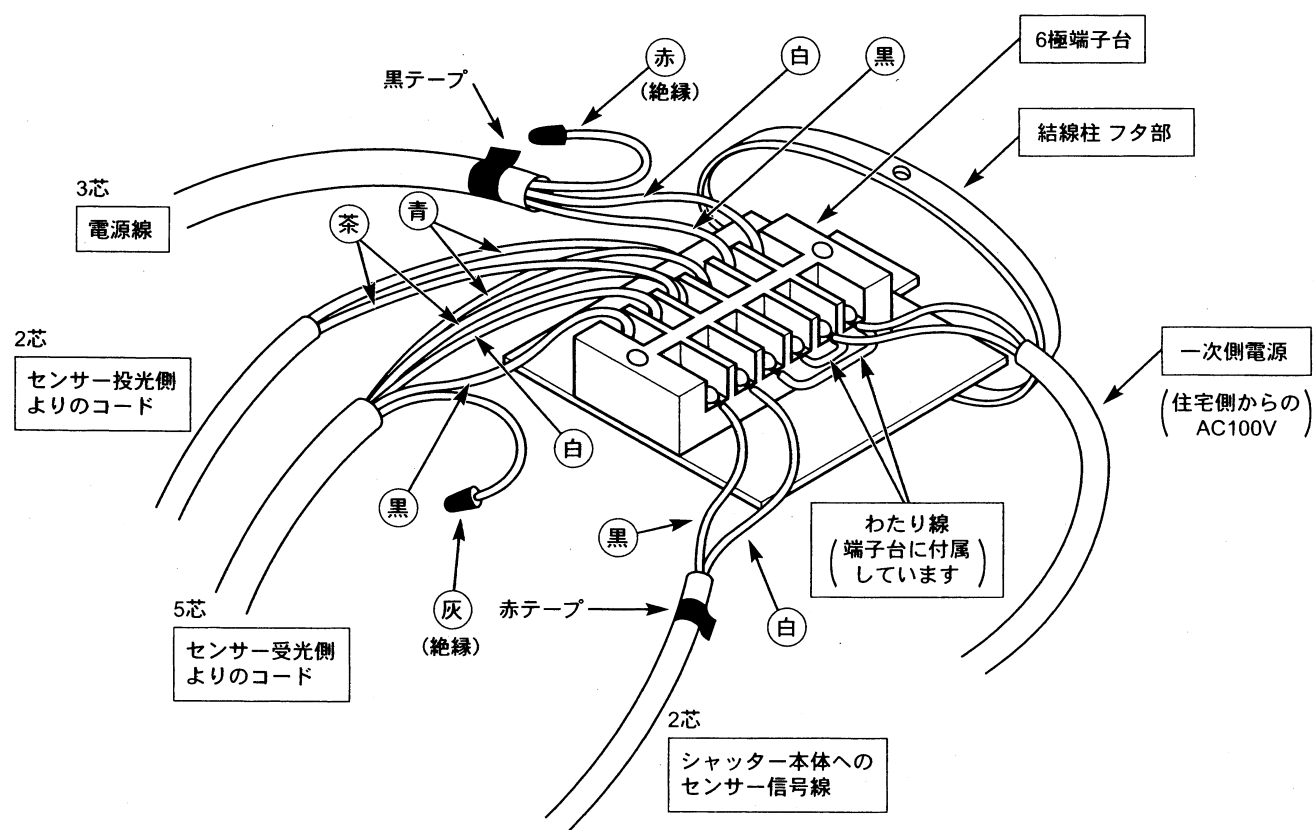
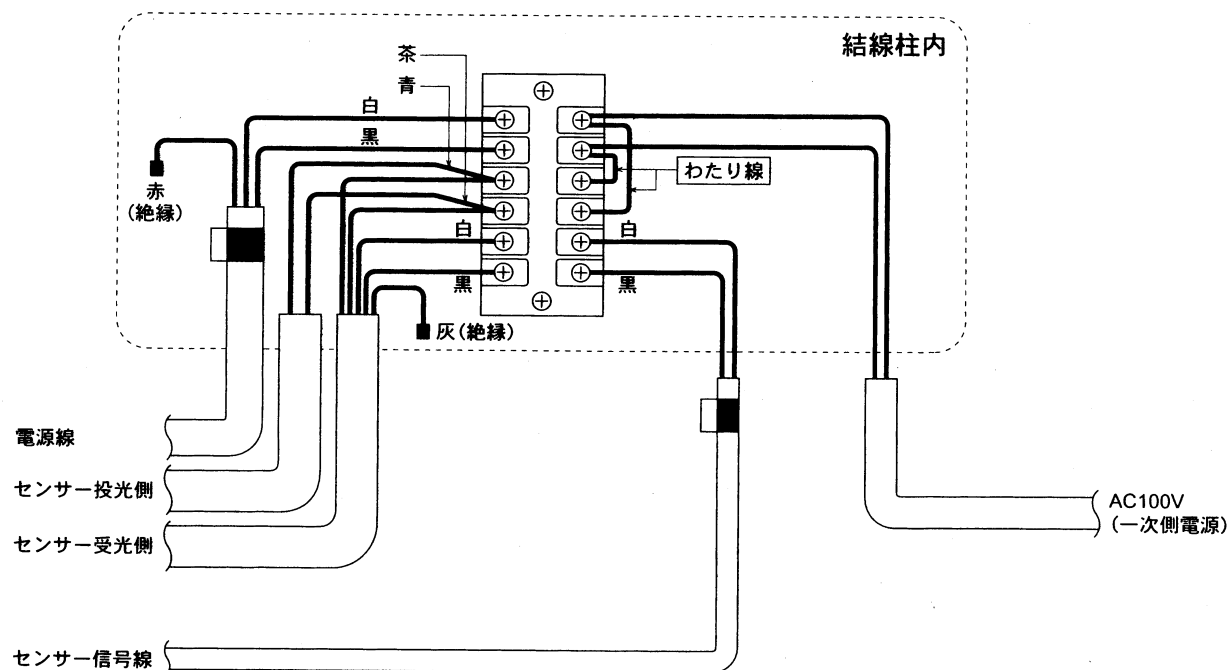


注 意

- センサー用CD管には、センサーケーブルを通しますので、中に入っている針金は外さないで下さい。

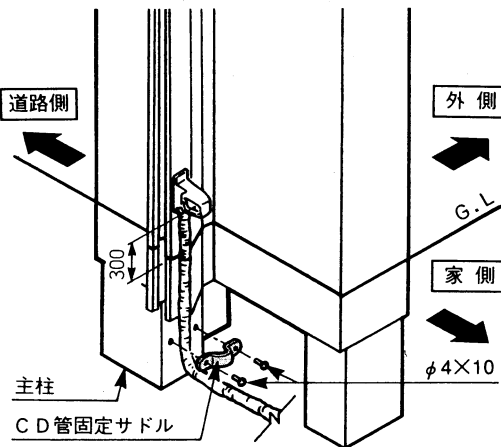
13. 結線（この結線工事は、有資格の電気工事店様にご依頼下さい）

- 図に電源およびセンサーの結線を示します。
- ケーブルの色に注意して結線して下さい。



14. 光電センサーの取付け

- ① レールステイに光電センサー取付プレートに $\phi 4 \times 8$ で取付けます。
- ② 取付プレートに光電センサーを M4 $\times$ 25 と M4 ナットで取付けます。
- ③ 取付けた光電センサーを光電センサーカバーで保護するため、 $\phi 4 \times 8$ でカバーを取付けて下さい。
- ④ G.L 以下の主柱の任意の位置に CD 管固定サドルの穴に合わせて下穴 ($\phi 3.5$) をあけて下さい。
- ⑤ CD 管固定サドルを $\phi 4 \times 10$ で取付けて、CD 管を固定して下さい。

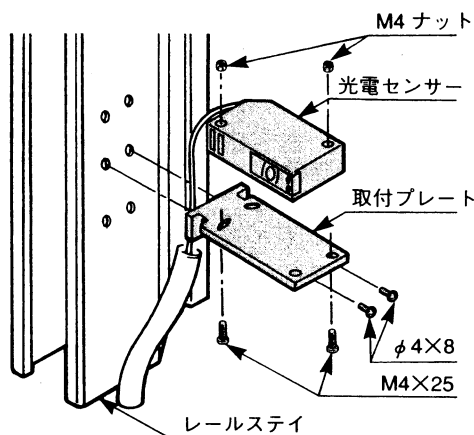


注 意

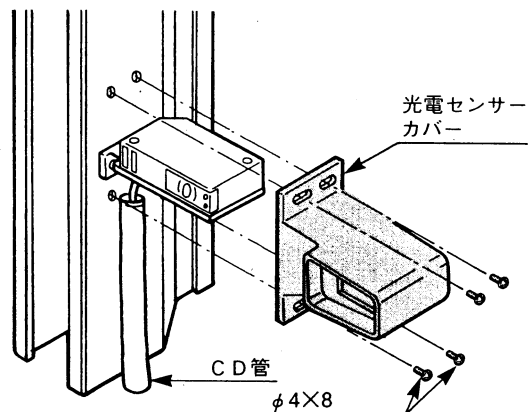
- センサーは、左右両レールにありますので、両方取付けて下さい。
- 光電センサーカバーには、左右があり、CD管用穴が下です。

〈ステンタイプ〉— レールステイに取付けて下さい。—

1. センサーの取付け

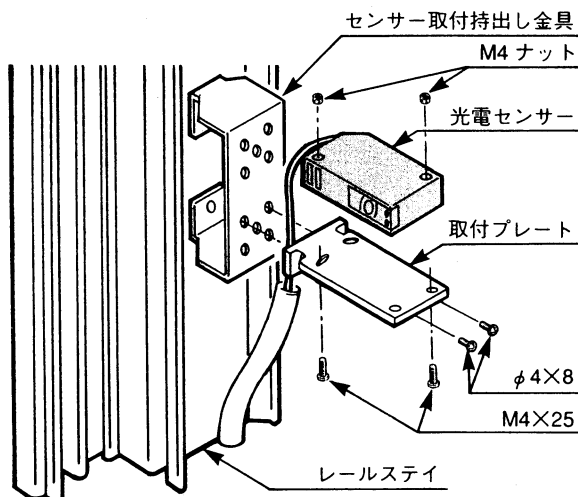


2. センサーカバーの取付け

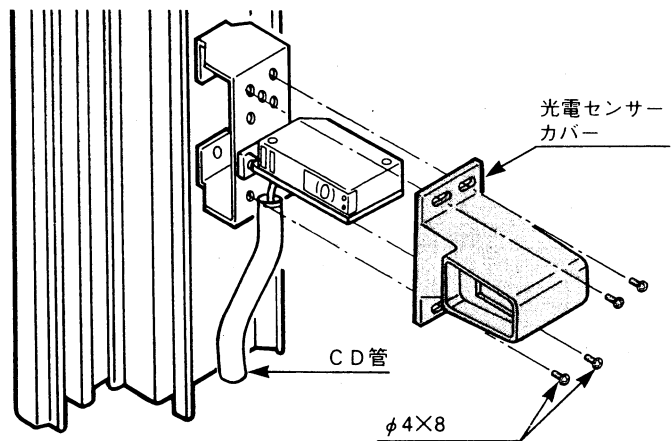


〈アルミタイプ〉— センサー取付持出し金具に取付けて下さい。—

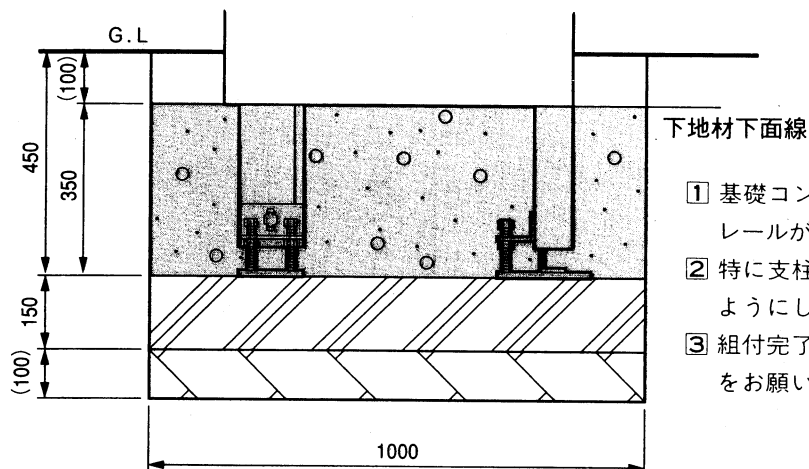
1. センサーの取付け



2. センサーカバーの取付け

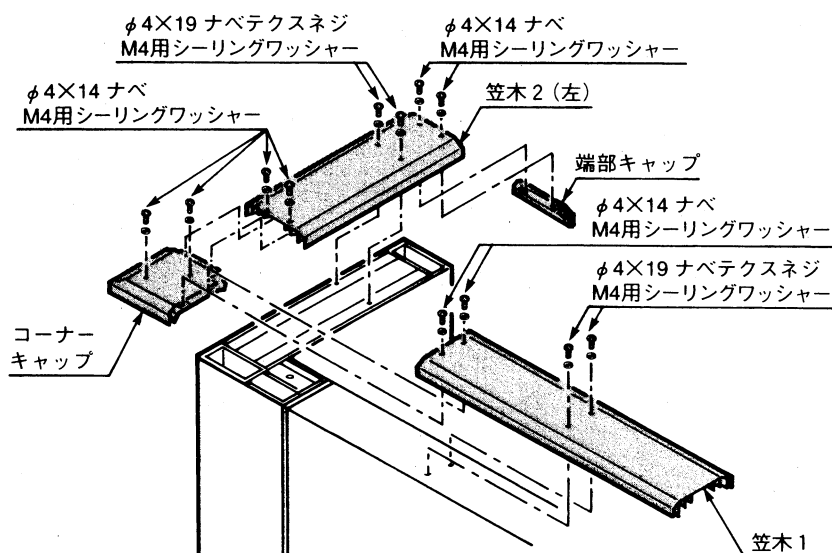


15. 基礎コンクリート打ち

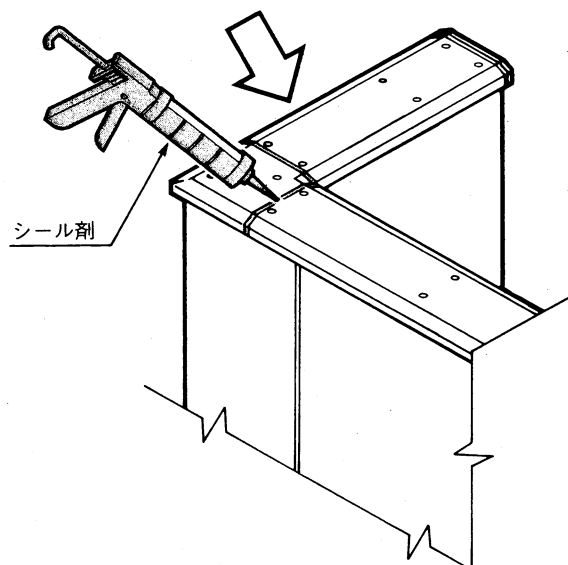


- ① 基礎コンクリートを打設します。後で、シャッターレールが付くため、下地材の下面までとしてください。
- ② 特に支柱、ベースプレート廻りには、充分行き渡るようにしてください。
- ③ 組付完了後、G.L指示線まで土間コンクリートの打設をお願いします。

16. 笠木、笠木コーナーキャップ、端部キャップの取付け

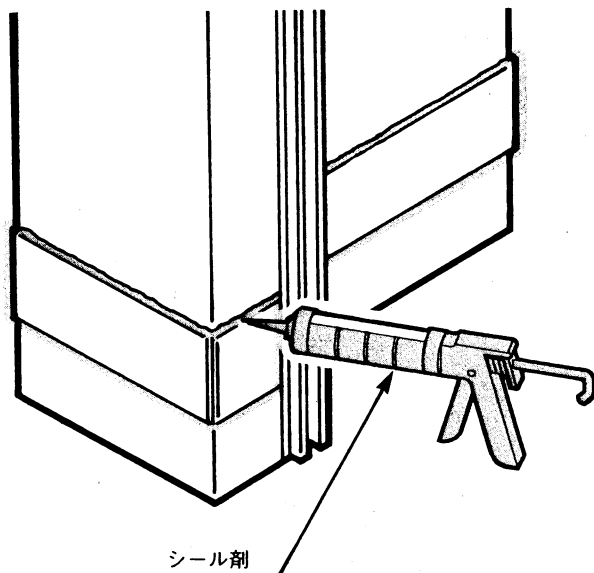
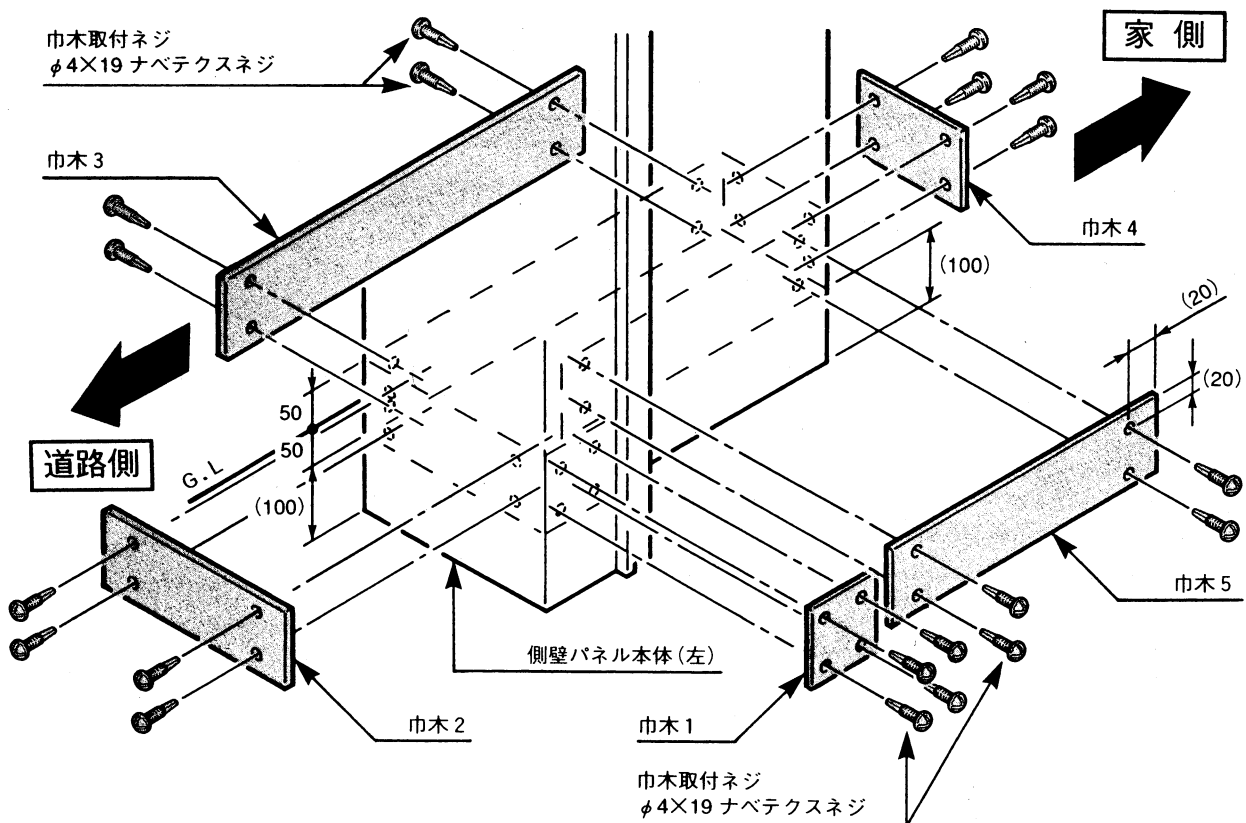
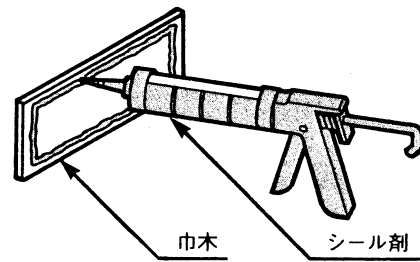


- ① 笠木 1 とコーナーキャップを組付け、前面パネルの上に取付けて下さい。
- ② 笠木 2 に端部キャップを組付け、コーナーキャップに差し込み取付けて下さい。
- ③ キャップと笠木の継ぎ目をシール剤で塞ぎ処理して下さい。



17. 巾木の取付け(塗材等での表面仕上げの場合は、巾木を使用してください)

- ① 巾木1～5の裏面の全周にシール剤を塗布して下さい。
- ② 巾木1～5を巾木取付ネジで側壁にねじ込んで取付けて下さい。
- ③ 側壁下地の仕上がり寸法に多少誤差がありますので巾木の合わせ目がうまくあわない場合はグラインダーで切断処理して下さい。
- ④ 巾木同士の合わせ目、側壁とのすき間をシール剤で処理して下さい。



注 意

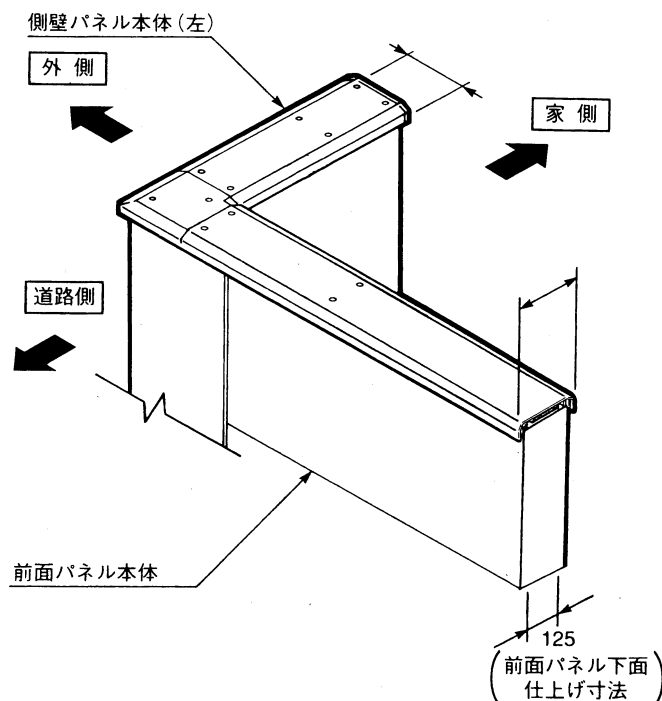
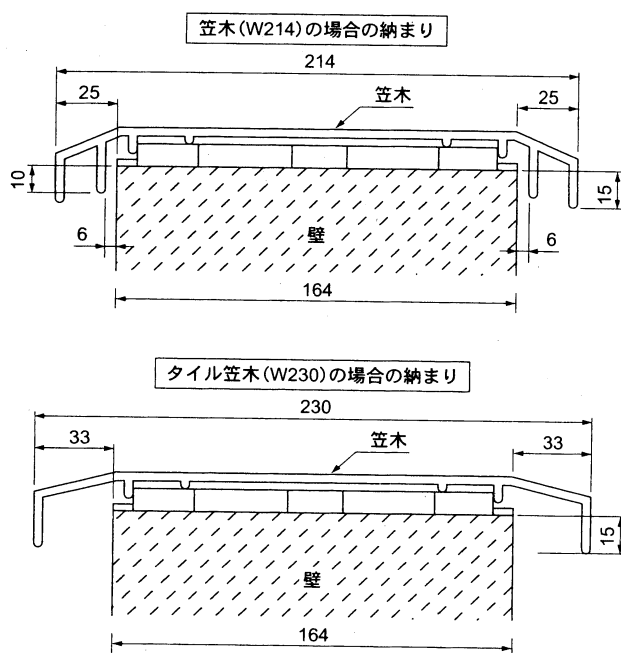
- 塗材仕上げの場合、地際は直接基礎に埋め込まず、必ず巾木を使用して下さい。
- 側壁下地を未処理の状態、基礎に埋込まないで下さい。
- 側壁下地の最下端までタイルで仕上げる場合は、巾木は必要ありませんので、現場に合わせて仕上げ方法を選択して下さい。

18. 表面材の仕上げ

表面材の仕上げを行なう前に別紙「ラスコート商品仕上げ施工の注意とお願い」を必ずお読み下さい。

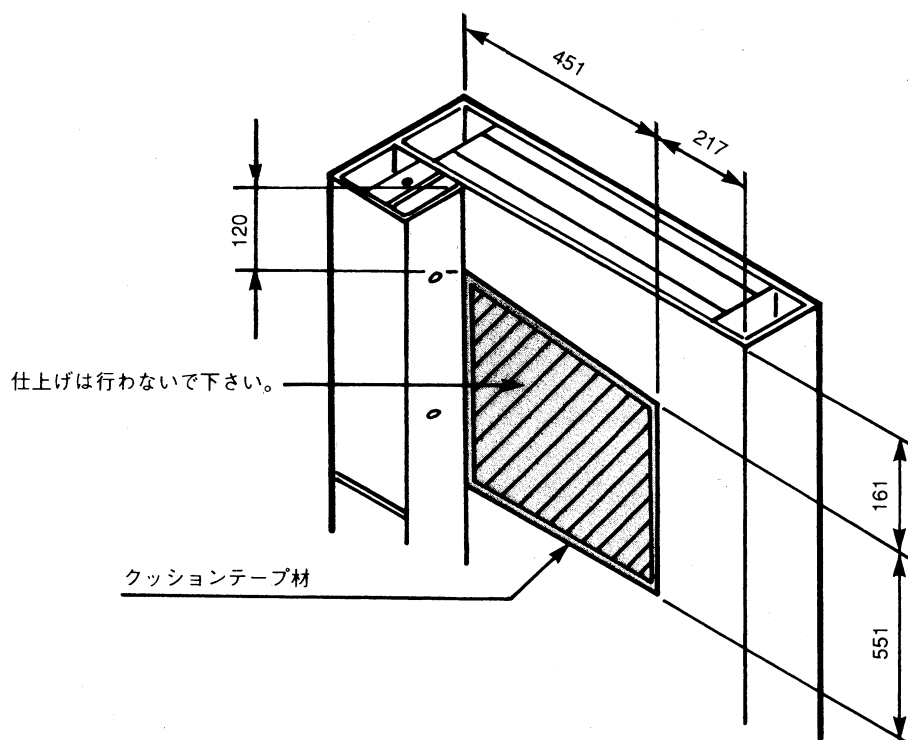
18-1. 笠木部分の納まり

- ① タイル、塗材等で表面の仕上げを行なう場合、笠木のかぶる上から10mm部分は、厚さが5mm以上にならないようにして下さい。
- ② タイル張りを行なう場合、タイル厚20mm以下のものを使用して仕上げて下さい。
笠木の出幅より厚いタイルを使用されますと、雨水による汚れや白華の原因となる可能性があります。



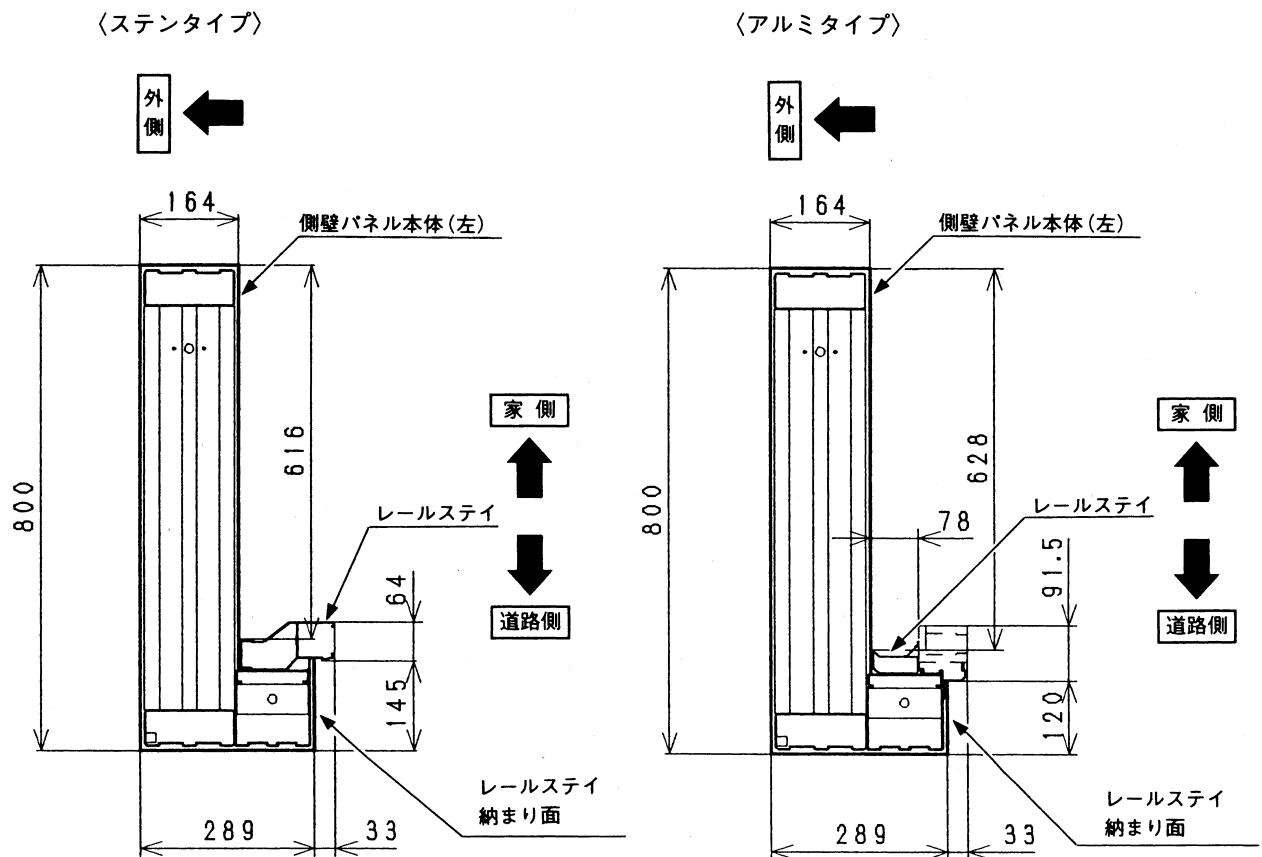
18-2. ブラケットの納まり(アルミタイプ側壁左のみ)

アルミタイプ側壁(左)は、側壁の際にシャッターブラケットが取付きますので、クッションテープ材の内側に仕上げは行わないで下さい。



18-3. レールの納まり

レールステイ納まり面にタイル、擬石等を張る場合、仕上がりの厚さが33mmを超えないようにして下さい。

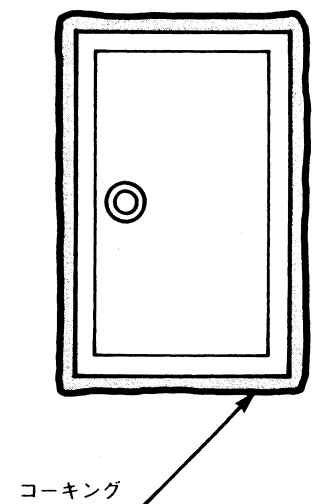


注 意

仕上がりの厚さが33mmを超えますとシャッター間口寸法が小さくなります。

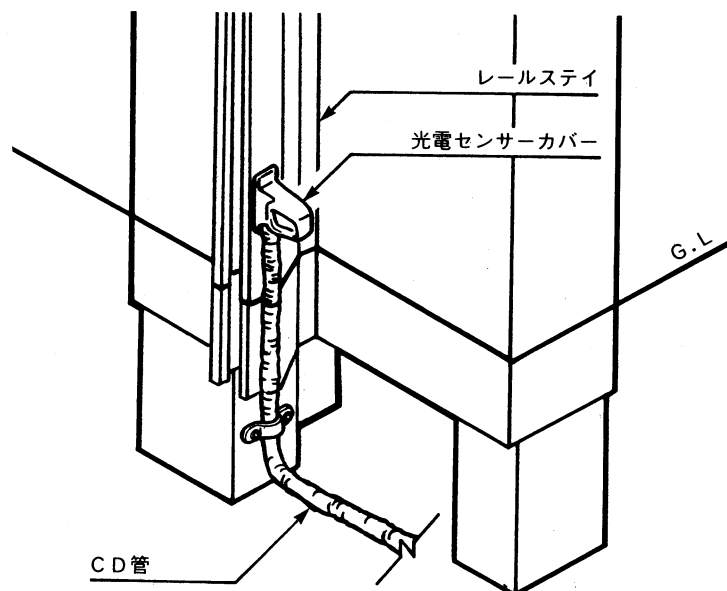
18-4. スイッチボックスまわりの処理

- ① 塗材の場合、スイッチボックスまわりをマスキングしてから仕上げの処理を行なって下さい。
- ② 仕上げが終わりましたら、スイッチボックスのフタを取付けて下さい。
(シャッター工事店様)
- ③ シャッター工事の後にスイッチボックスの周囲をコーキング処理して下さい。



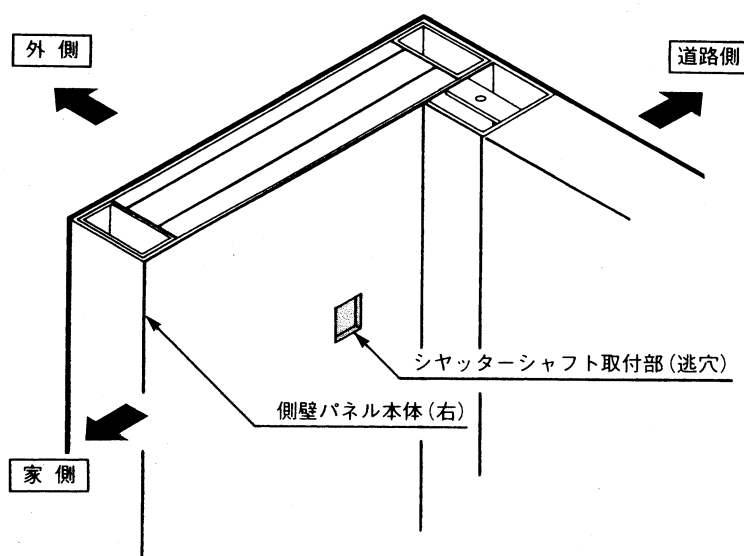
18-5. 光電センサーまわりの処理

- ① レールステイ際にタイル、擬石を張る場合、光電センサーとカバーを仮付けして下さい。
- ② 光電センサー、CD管に当たらないようにタイル、擬石を張って下さい。
- ③ 光電センサーとカバーを外して下さい。



18-6. 側壁(右)のシャッターシャフト取付部の納まり

側壁(右)には、シャッターシャフト取付用の逃穴加工がされていますので、テープ等でふさがらないで下さい。



19. シャッター取付工事 (シャッター工事店様にご依頼下さい)

シャッター取付工事内容

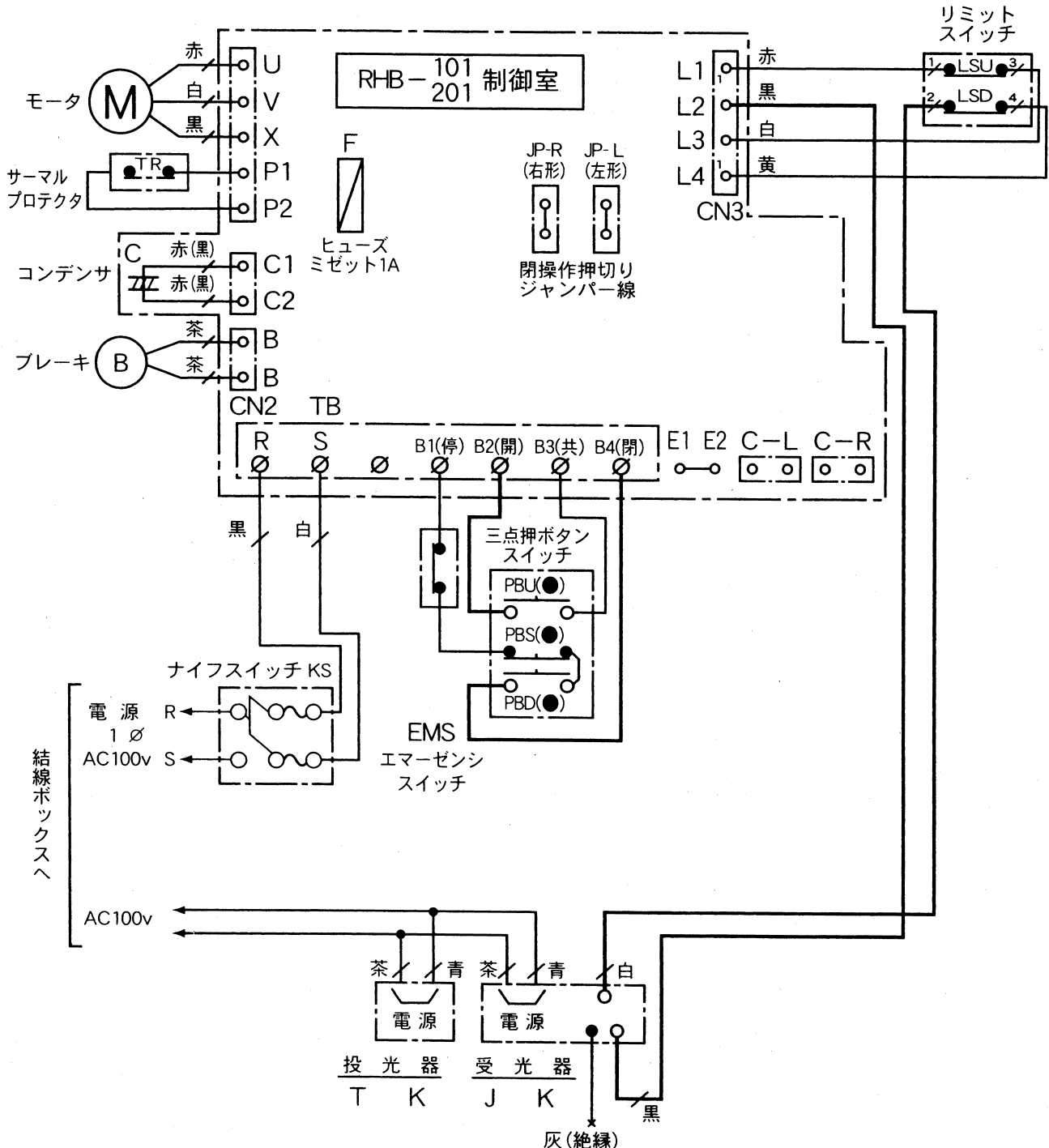
- ① シャッター取付工事
- ② 二次配線及び光電センサーの光軸調整
- ③ 上限・下限の調整

注 意

- シャッター取付工事はゲート本体とは別に施工します。
- 土間が仕上がっていない場合、下限は仮設定となりますので、必ず再設定をして下さい。

20. 上限、下限の調整及び配線図

○配線図



開閉機仕様(ステン)

電源	AC100W 50Hz・60Hz
定格出力	130W
定格電流	50Hz 2.77A 60Hz 2.64A
起動電流	50Hz 4.65A 60Hz 4.60A

開閉機仕様(アルミ)

電源	AC100W 50Hz・60Hz
定格出力	200W
定格電流	50Hz 3.83A 60Hz 4.58A
起動電流	50Hz 6.97A 60Hz 7.07A

(注意)
受信機はこの接続図に含んでいません。

施工チェックリスト

■本体ユニットを施工される販工店様へのお願い

次工程のシャッター取付工事へのつながりを円滑にするため、施工範囲の確認と本体ユニット建付け寸法のチェックにご使用下さい。

	施 工 項 目	取付説明書記載ページ	チェックポイント	確認欄
本 体 工 事	本体ユニットの建付け施工	P 10. 「10. レベルチェック、固定」 まで	・レール内一内寸法 5080±5mm ・左右側壁のレベル差 ±5mm	未・済
	C D 管の配管	P 11. 「12. C D 管の配管」		未・済
	光電センサーの取付	P 13. 「14. 光電センサーの取付け」	・カバーの施工まで 行って下さい。	未・済
	基礎コンクリート打ち	P 14. 「15. 基礎コンクリート打ち」		未・済
	笠木の取付け	P 14. 「16. 笠木、笠木コーナキャップ、端部キャップの取付け」		未・済
	巾木の取付け	P 15. 「17. 巾木の取付け」		未・済
電 気 工 事	配線の結線	P 12. 「13. 結線」		未・済
シャッター 工 事	シャッター本体取付施工			未・済
	二次側配線工事			未・済
	光電センサーの光軸調整			未・済
	上限、下限設定			未・済
	運転確認			未・済
	リモコン作動確認			未・済

工事店様へ

- 仕上げ後、本体についているモルタルを完全に拭き取ってください。
硬化後拭き取りますと表面を痛めますのでご注意ください。
- みだりに改造、変更はしないでください。
- 施工終了後、取付説明書は施主様にお渡しください。
- ご使用いただきましてありがとうございました。

施主様へ

- シャッター使用の際には、必ず、取扱説明書をお読み下さい。

取説コード

D264

98-03A
200005 D